

2010年4～6月期の千葉県の延べ宿泊者数は全国第4位、 リゾートホテルの客室稼働率は前年に続き全国第1位

国土交通省が2010年9月に発表した10年4～6月期の「宿泊旅行統計調査」結果（注）によれば、千葉県の延べ宿泊者数（外国人を含む）は447万人と、東京都、北海道、大阪府に次いで全国第4位となった。

うち県内の外国人延べ宿泊者数は64万人（県全体の14.4%）と、東京都（241万人）、大阪府（89万人）に次いで全国第3位となった。外国人延べ宿泊者を国別に見ると、トップは中国で（09年4～6月期：全体の20.9%→10年4～6月期：同30.2%）、経済成長による所得増加で海外旅行者やビジネス客が増えたことや、個人観光ビザの発給開始などが大きく後押ししている。また10年7月には一層のビザ発給要件が緩和されており、さらなる増加が見込まれている。

（注）10年3月時点の調査までは従業者10人以上の宿泊施設が主に対象であったが、今回より従業者10人未満の宿泊施設も一部抽出され、集計の母数値が増えている。

千葉県の宿泊施設タイプ別の客室稼働率（利用客室数／総客室数）をみると、ビジネスホテルが60.9%（全国平均58.7%）、旅館が23.0%（同29.2%）とほぼ全国並みであるのに対し、シティホテルが76.8%（同69.4%）と全国第5位、リゾートホテルは65.5%（同43.2%）と前年同期に続き全国第1位となった。また、09年の年間客室稼働率をみても、県内のリゾートホテルは82.1%と、東京ディズニーリゾート周辺ホテルの客室稼働率の高さが牽引し、全国第1位である。

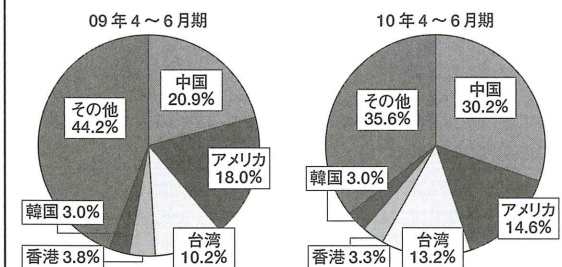
千葉県は、東京ディズニーリゾートや成田空港、幕張メッセなど年間を通じて集客力のある施設を抱えているほか、夏季には内房・外房でのマリレジャー、冬季には暖かい南房総での花き観光など、通年型観光が定着してきていることがうかがわれる。南房総などの観光地に立地するリゾートホテルも09年8月より開始した東京湾アクアラインの通行料金引下げの社会実験の効果（10年4～6月期の通行量は全日ベースで32,400台／日と前年同期比+30.5%増）を生かし、観光客の取り込みに努力している。（古川）

10年4～6月期の
全国の延べ宿泊者数（単位：万人）

全国順位	都道府県名	延べ宿泊者数	
			うち外国人
1位	東京都	1,111	241
2位	北海道	596	33
3位	大阪府	521	89
4位	千葉県	447	64
5位	静岡県	435	17
全国合計		9,511	701

出所：国土交通省「宿泊旅行統計調査報告」

千葉県における外国人延べ宿泊者（国別シェア）の
09年4～6月期と10年4～6月期の比較



出所：国土交通省「宿泊旅行統計調査報告」をもとにちばぎん総合研究所が作成